

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信

(東大阪東RC)

平素はロータリー財団に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年度に引き続いて地区財団委員長を仰せつかっております。

2013年7月より全世界で導入されましたロータリー財団の新補助金制度は皆様の積極的な財団プログラムへのご参加により、当地区は現在、地区補助金及びグローバル補助金ともに日本のモデル地区と評価される位に活発に活動頂いております。

2013-14年度地区補助金は、44件のクラブからの申請(奨学金1件、国際奉仕10件、災害復興11件、社会奉仕22件)と、1件の地区からの申請(フィリピンの台風被害に対する支援)が承認を受けました。

また2013-14年度グローバル補助金は、奨学金で3件、人道的国際奉仕分野は代表申請で7件、共同申請で3件の承認を受けました。これは日本で第一位の承認件数であります。今年度も、財団プログラムへの積極的なご参加によりクラブの活性化に繋げて頂ければ幸いです。

デイリー C.K. ホァン 2014-15年度RI会長のメッセージ

世界には問題が山積みとなっており、大勢の人が助けを必要としています。地元社会が何を必要としているか、どう支援できるかは、皆さんご自身のほうがお分かりになるでしょう。

ジョン・ケニー 2014-15年度ロータリー財団管理委員長は2014-15年度財団目標を、

- ① ポリオを撲滅する。今こそ目標を達成しよう。
- ② 継続的な寄付を通じて、ロータリー独自かつ唯一の慈善事業を支援する。
- ③ 持続可能な教育的・人道的プロジェクトに参加することで、新しい補助金プログラムの発展を確かなものとする。
- ④ ロータリー平和センター・プログラムの推進と広報を通じて、世界理解、親善、平和を育む。
- ⑤ ロータリー財団の未来の健全性は自分たちにかかっていることを強調する。

としており、この目標の達成を目指しましょう。

寄付目標

2014-15年度の年次基金目標はUS\$123,000,000とすることが管理委員により承認されました。

本年度の日本の目標は、

日本の一人あたりの年次基金：\$150

ポリオプラス：\$1,500(クラブ) / DDF の20% (地区)

寄付と認証

ポール・ハリス・ソサエティは、毎年1,000ドルを年次基金、ポリオプラス、財団が承認した補助金に個人として寄付するロータリアンやロータリー財団の支援者を認証するプログラムです。管理委員会で2013年7月からロータリー財団の公式認証プログラムになることを決定しました。2013-14年度福家ガバナーは、この認証プログラム推進のため地区ポール・ハリス・ソサエティ・コーディネーターを任命し、今年度泉ガバナーも引き続き任命しました。ご協力よろしくお願い申し上げます。

冠名基金

現在、日本の冠名基金は120あり、多くの方がご自身やご家族、お子様のお名前のついた基金を設立しています。冠名基金は\$25,000以上の恒久基金へのご寄付(累計も含む)で設立することができ、個人だけでなく、地区やクラブとしても設立が可能です。DDFの繰り越しやイベント等で一般から集められたご寄付なども設立資金としてご活用いただけます。

ポリオプラス

東南アジアがポリオフリーに——これを足がかりに、世界からポリオを撲滅しよう

ロータリーが懸命に取り組んでいるポリオ撲滅活動。3月には、世界保健機関(WHO)が東南アジア地域を「ポリオフリー」(ポリオのない

地域)として正式に宣言するという明るいニュースが流れました。東南アジア地域に含まれる11カ国の人口は18億人以上。まさに、世界人口の約25パーセントに当たります。

【ポリオ症例数】

2014年7月8日現在のポリオ症例数です。

	2014年1月1日~7月8日	2013年
アフガニスタン	7	14
パキスタン	90	93
ナイジェリア	5	53
ポリオ常在国以外	13	256
世界合計	115	416

現在、ポリオ常在国はアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアの3カ国です。

ロータリー財団地域セミナー (Zone 1.2.3)

2014年7月2日(火)、東京で「ロータリー財団地域セミナー」が開催され、全国から約300名が参加しました。

今回のセミナーでは、2014-15年度ロータリー財団目標、ロータリー日本財団の現状、大口寄付の重要性、ポリオ撲滅エンドゲーム戦略計画、元ロータリー平和フェローからの報告(ロータリー平和フェロー第2期生 岸谷美穂)、補助金のオンライン申請手続き、グローバル補助金VTT報告、日本のロータリー平和フェローシップの現状、ロータリーカードの普及、グローバル補助金奨学生報告(RID2770学友 大塚桃子)など多岐にわたるものでした。

ロータリーカード

ロータリーカードに「ビジネスカード」が誕生しました。これにより「ゴールド」と「スタンダード」を加えた合計3種類のロータリーカードから目的に応じた利用方法を選べます。利用金額の0.5%と年会費3,150円(税込)のうち1,500円が自動的にロータリー財団に寄付されます。ビジネスカードを利用して会社の経費を決済するたびにロータリー財団へも貢献することがで

きます。新規入会者1名(メンバー会員含む)につき、1,000円が地区の年次基金となります。是非「ビジネスカード」をお申込みください。

補助金に関する決定事項

4月の管理委員会で地区補助金の要件などの変更が決議されました。

● 地区補助金の要件：

地区補助金で、青少年プログラム(ロータリー青少年交換、RYLA、ローターアクト、インターアクトなど)、建設(低廉住宅を含む)、協力団体の職員による補助金関連の旅行、奨学生のためのオリエンテーションセミナー、補助金管理セミナー、主にロータリー以外の団体によって実施されている活動に資金を充てることができるようになりました。

ただし、補助金の要件の範囲内での緩和となりますので、プロジェクトはロータリークラブまたは地区が提唱者として内容を把握し領収書の保管など資金管理をしなければなりません。また旅費を伴う場合はBCDトラベルを利用し、利害の衝突の観点から、青少年交換学生として派遣する場合でもロータリアンの子、孫などに補助金を利用することはできませんのでご注意ください。この変更は即時適用となります。

● 重点分野の基本方針：

管理委員会は、「経済と地域社会の発展」の重点分野における基本方針の文言をより明確にするため、修正を加えました。

地域社会でのインフラプロジェクトは引き続き補助金の対象とはなりません、「収入を得るために、物やサービスを創出・配布する地域社会の人びとの能力を大幅に高める場合を除く」との文言が付け加えられました。

● パッケージ・グラント：

全体的な評価の結果、管理委員会は、財団の戦略パートナーとのパッケージ・グラントを延長しないことを決定しました。

現在進行中の活動が完了次第、パッケージ・グラントは終了となります。